

ルワンダ月報（２０２５年３月）

※以下は、ルワンダ主要メディア（RNA、New Times等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

外交に関し、カガメ大統領（以下「カ」大統領）の主要な動き以下のとおり。

- 2月末から3月1日にかけて、広域ミッションの一環として当地訪問中であったボルグスタムEU大湖地域特別代表と面談。
- 10日、ルワンダ、ケニア、ソマリア、ウガンダ担当であるファン世銀担当者と会談。
- 18日、カタールが主催するコンゴ（民）との三カ国首脳会合に参加。
- 25日、オンラインで開催された第2回EAC-SADC首脳合同サミットに参加。

コンゴ（民）東部情勢に関し、

- 4日、加が声明にて制裁を発表。制裁内容には、規制品及び技術のルワンダへの輸出停止、ビジネス促進のための支援停止、ルワンダ主催イベントへのハイレベル出席見合わせが含まれる。
- 5日、独が声明にて制裁を発表。制裁内容には、新たな資金援助の停止、開発協力分野における既存の協力見直し、ルワンダ主催イベントへのハイレベル出席の停止等が含まれる。
- 12日、ンドウフンギレ外務大臣はブリュッセルを訪問し、デポーター・ベルギー連邦議会対外関係委員会副委員長と会談。
- 17日、ベルギー政府との国交断絶を発表。ベルギー人外交官に、48時間以内の退去を求めた。また本発表に伴い、27日、ルワンダで活動しているNGOの協力関係を禁止した。
- 17日、EUは、声明にてM23及びルワンダ国防軍の指導者、当地鉱物採掘企業等を制裁リストに追加したと発表。右対象者に対する渡航制限や資産凍結、資金移動禁止を決定。本制裁をうけ、M23は、18日にルアンダにて開催が予定されていた和平交渉への参加を中止した。
- 24日、18日にカタールがルワンダ、コンゴ（民）との三カ国首脳会合を主催したことをうけ、ロウレンソ・アンゴラ大統領はルアンダ・プロセスの仲介役からの撤退を発表。
- 28日、ンドウフンギレ外務大臣は、国連安保理にて演説を行い、コンゴ（民）がFDLRの戦闘員と協力していること、コンゴ（民）におけるツチ族コミュニティが組織的に迫害されていると述べた。

その他外交に関し、

● 3日、実施見送りとなった英からルワンダへの庇護希望者送還について、ルワンダは英に約6400万米ドルの未払い金の支払いを求めた。一方、英はルワンダとの契約が破棄となったことを理由に右要求を退けた。

開発協力に関し、

● 電動バスの輸入販売会社 BasiGo（本店ケニア）は、4月にキガリに28台の電気バスを納入予定と発表。

2. 経済

● 当地インフレ率は、2025年2月時点で同年同月比6.3%増化。特に、交通分野（17.4%）及び飲食・宿泊分野（11.6%）での増加が顕著。

3. その他

● スポーツに関し、15日、当館は空手大使杯を開催。約20の空手クラブから選手120人以上が参加した。20日、世界自転車競技連合は、予定通り9月に当地にてロード・ワールド・チャンピオンシップを開催すると発表。